

## ●2024年度～2026年度 社会福祉法人エンゼル福祉会 事業計画

### 1. 現状の課題

- (1) 人材不足からくる職員負担増、離職の増加、悪循環の状況
- (2) ユニットリーダー 責任者 管理者の登用・育成の停滞
- (3) かなみの杜における離職率の増加から、入居者抑制、収支不安定
- (4) 介護職員の賃金水準・介護職員等の高齢化
- (5) 単年度収支による施設修繕費用やその他福祉機器の入れ替え費用の捻出（財務状況の改善、安定に向けた稼働、事業展開の思考）
- (6) IT技術等を含めたロボット化への対応（RPA構築等）
- (7) エンゼル福祉会の将来への考察と求められる法人への進化（高齢者福祉、障害者福祉、その他の事業含む）
- (8) 法人ガバナンス構築の浸透不足

### 2. 今後の行動

上記課題に対して統括施設長を中心に本部職員、各施設長を交えて定期的なミーティングにおいて解決案を議論し、合意形成を得ながら一つずつ解決にあたる。

- (1) 職員定着に向けた環境改善。法人全体、施設単体における職員調査をもとに適宜可能な対策を講じる
- (2) 引き続き将来の管理者育成に向けた養成研修の実施、OJT実施職員の育成研修、管理者による人事考課研修等
- (3) 越谷なごみの郷、藤代なごみの郷における大規模修繕に対する自治体による助成金活用
- (4) 本部職員、施設長、管理者へ新興テクノロジーへの対応強化
- (5) 時代に沿った法人の在り方に対する検討会。内部監査項目指摘事項の進捗確認
- (6) 報酬改定等新規加算への対応（生産性向上委員会の設置等）
- (7) 災害、感染に対する新たな事業継続計画の運用開始

●2024 年度事業計画 （各施設共通項目含）

1. 役員会・評議員会・監事監査日程 （法人本部）

(1) 監事監査

① 2024 年 5 月 14 日（火）10 時～

(2) 役員会

① 事業報告、決算等 2024 年 6 月 11 日（火）14：00～

② 補正予算等 2025 年 1 月 14 日（火）14：00～

③ 2025 年予算・計画等 2025 年 3 月 18 日（火）14：00～

(3) 評議員会

① 事業報告、決算等 2024 年 6 月 27 日（木）14：00～

② 補正予算等 2025 年 1 月 23 日（木）15：00～

\* 終了後新年会を予定

③ 2025 年予算・計画等 2025 年 3 月 27 日（木）14：00～

2. 人材採用・育成（共通）

(1) 新規卒業者採用

① 大学卒：スポーツ採用と一般採用についてダイレクトリクルーティングの強化と直接訪問の実施

② 高校卒：求人票配布後の学校訪問を継続（スポーツ採用の強化から配布する学校の範囲を広げる）

(2) 中途採用

① 現状の求人募集を継続。採用サイト運営業者による新たな形態の採用ツールは随時刷新されている為、情報収集を怠らずに確認し、有用なツールを採用していく

② 各自治体における助成金情報を確認し法人運営施設内での活用を検討

③ 2024 年度外国人雇用者（ベトナム人技能実習生）の迎え入れ 8 名

(3) 職員育成

① 現任リーダー、責任者、管理者のマネジメント能力向上

② 次世代リーダー育成 定期的なミーティングの実施（全施設共通）

- ③ 各職種別研修への参加（内部・外部研修）
- ④ RPA 構築人材の育成
- ⑤ かなみの杜：採用後 OJT 教育の再構築 委員会の活用
- ⑥ かなみの杜：ユニットリーダー等主要職員との定期的なミーティング機会の確保

### 3. 施設毎個別方針

#### (1) 越谷なごみの郷

- ① 地域貢献事業の推進：nego カフェの再開
- ② 和太鼓祭り：2024 年 10 月 6 日（日）予定
- ③ 関係機関主催災害対策訓練：越谷市主催福祉避難所開設訓練・川柳地区防災訓練

#### (2) 藤代なごみの郷

- ① 離職予防への取り組み：偏った労働環境の改善
- ② 在宅サービス事業の稼働率向上：施設全体での課題と捉え取り組む
- ③ なごみ祭りの実施：8 月最終金曜日を予定
- ④ 職場体験：中学生の職場体験の受け入れ
- ⑤ 認定特定行為従事者の技術担保と増員：シュミレーターを使用した実践練習と資格取得の支援の為シフトの配慮
- ⑥ 人材採用ツールの開拓：茨城県取手市における採用強化に向けた新たなツールの開拓
- ⑦ 藤代なごみの郷基本給増額を検討（越谷なごみの郷同額・夜勤時間の整理が必要）

#### (3) おたけの郷

- ① 入居者ご家族への取り組み：広報誌の発行、懇談会の実施（2024 年 9 月・2025 年 3 月）
- ② 地域への取り組み：おたけ祭りの開催、自治会合同訓練、駄菓子屋の開店
- ③ 短期入所生活介護事業所の情報発信：毎月の広報誌発行、直接の訪問、緊急的な受け入れを積極的に実施

(4) かなみの杜

- ① 週休3日制と週休2日制のフロア構築
- ② 見守り支援機器との連携（ハナストの導入検討）
- ③ 職員毎の目標設定と適正評価
- ④ 施設内風土の活性化：各フロアにて定期的な合意形成のミーティングを開催
- ⑤ 早期の満床稼働を目指す

(5) 尾久のはらっぱ

- ① 人材採用：介護支援専門員1名の採用
- ② 地域に向けた活動：共同イベントを企画、実施
- ③ 小規模：現状稼働率を維持
- ④ 車両事故0件

4. 施設整備（2024年～2026年計画）

(1) 現在の財務状況を注視し慎重に検討する

- ① 有利子負債、債務関係等
- ② 施設整備等積立金
- ③ 2024年度収支状況

(2) 高齢者施設のほか障害福祉への進出も視野にいれて検討

5. 報酬改定への対応

- (1) 安定した加算取得
- (2) 見守り支援機器の導入検討（入居者支援・職員負担の軽減）

6. 2024年度予算（別紙参照）

7. 資金運用計画（別紙参照）

- (1) 国内債券（ソフトバンク社債）額面5000万円が2024年度6月1日に満期となる。全体の比率を考慮し上記のうち3000万円を限度として有価証券での資金運用を検討する。

## 8. その他

- (1) 署名、押印等が必要な契約書等の整理、クラウドサイン、電子署名への置き換え
- (2) 会計スキームの変更。(内部けん制等セキュリティの変更はしない)
- (3) かなみの杜における業務体制整理（入居契約事務・アセスメント、ケアプランの管理・委員会の運営・全体マネジメント）
- (4) 法人事故防止委員会の結果を参考に事故防止を図っていく
- (5) 法人ホームページの見直し（契約形態含む）